

令和8年(1月～5月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成

※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

※ 新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

【表1 業種別の労働災害発生状況】

加古川労働基準監督署

業 種	令和8年(1月～5月)		前 年 同 期		前 年 比 較		
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
全 産 業	237 (2)	100.0% (100.0%)	249 (1)	100.0% (100.0%)	-12 (1)	-4.8% (100.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含む)	130 (1)	54.9% (50.0%)	127	51.0% ()	3 (1)	2.4% (-)	
製 造 業	87 (1)	36.7% (50.0%)	79	31.7% ()	8 (1)	10.1% (-)	
鉱 業		()		()	()	- (-)	
建 設 業	13	5.5% ()	18	7.2% ()	-5 ()	-27.8% (-)	
運 輸 交 通 業	26	11.0% ()	27	10.8% ()	-1 ()	-3.7% (-)	
貨 物 取 扱 業	3	1.3% ()	1	0.4% ()	2 ()	200.0% (-)	
農 林 業	1	0.4% ()	2	0.8% ()	-1 ()	-50.0% (-)	
畜 産 ・ 水 産 業		()		()	()	- (-)	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除く)	107 (1)	45.1% (50.0%)	122 (1)	49.0% (100.0%)	-15 ()	-12.3% ()	
商 業	卸 売 業	4	1.7% ()	11	4.4% ()	-7 ()	-63.6% (-)
	小 売 業	22	9.3% ()	26	10.4% ()	-4 ()	-15.4% (-)
	上記以外の商業	2	0.8% ()	3	1.2% ()	-1 ()	-33.3% (-)
	計	28	11.8% ()	40	16.1% ()	-12 ()	-30.0% (-)
通 信 業	7	3.0% ()	6	2.4% ()	1 ()	16.7% (-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	10	4.2% ()	13	5.2% ()	-3 ()	-23.1% (-)
	社 会 福 祉 施 設	22	9.3% ()	25	10.0% ()	-3 ()	-12.0% (-)
	上記以外の保健衛生業	1	0.4% ()	1	0.4% ()	()	(-)
	計	33	13.9% ()	39	15.7% ()	-6 ()	-15.4% (-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	9	3.8% ()	11	4.4% ()	-2 ()	-18.2% (-)
	ゴ ル フ 場	6	2.5% ()	3	1.2% ()	3 ()	100.0% (-)
	上記以外の接客娯楽業	4	1.7% ()	6	2.4% ()	-2 ()	-33.3% (-)
	計	19	8.0% ()	20	8.0% ()	-1 ()	-5.0% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	7 (1)	3.0% (50.0%)	3	1.2% ()	4 (1)	133.3% (-)
	廃 棄 物 処 理 業	4	1.7% ()	5	2.0% ()	-1 ()	-20.0% (-)
	上記以外の清掃・と畜業		()		()	()	- (-)
	計	11 (1)	4.6% (50.0%)	8	3.2% ()	3 (1)	37.5% (-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	4	1.7% ()	1	0.4% ()	3 ()	300.0% (-)
	上記以外のその他の事業	5	2.1% ()	4	1.6% ()	1 ()	25.0% (-)
	計	9	3.8% ()	5	2.0% ()	4 ()	80.0% (-)
金 融 広 告 業		()	2 (1)	0.8% (100.0%)	-2 (-1)	-100.0% (-100.0%)	
映 画 演 劇 業		()	1	0.4% ()	-1 ()	-100.0% (-)	
教 育 研 究 業		()	1	0.4% ()	-1 ()	-100.0% (-)	
官 公 署		()		()	()	- (-)	
(陸 上 貨 物 運 送 業)	24	10.1%	28	11.2%	-4 ()	75.0% (-)	

注 第三産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一〇業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三産業と呼んでいます。